

三体千字文を書く (38)

締切り 二月二十一日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、

憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

蓋此身髮

四大五常

身体髪膚は父母からうけた大切なものであり、

四大を知って、五常を守って身を立てる。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔読み〕 堪忍の袋を 常に首に掛け 破れたら縫え



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

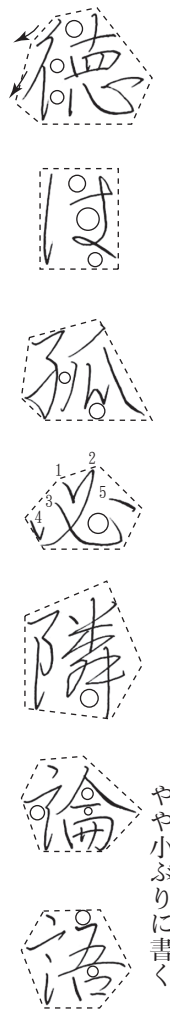


新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆3月課題予告(行書)
 - 彼を知り
 - 己れを知れば
 - 百戦して殆うからず
- ▼教範・書範Ⅱ楷書
- ▼師範Ⅱ行草または草書

★堪忍の：(書体Ⅱ行草または草書)
 中沢道二(一七二五〜一八〇三)
 江戸後期の心理学者
 耐え難いことがあったらそのたびに
 堪忍袋を破る、といった主体的な立場
 と、じっと我慢していても自然と堪忍
 袋が破れる、といった受け身の立場と
 の二通りに解釈ができます。
 いちいち腹をたてて堪忍袋を破って
 いては堪忍袋なるもの、そうそうもた
 ないでしょう。ここは後者で考えるこ
 とにより我慢の繰り返しに堪えていか
 なければならぬ、という人間のかな
 しさは伝わってきます。

- ◆3月課題予告(楷書)
 - 約束もしないのに
 - 花は春ほほえむ
- 西岡光秋

★徳は：(書体Ⅱ行書)
 論語(孔子の言行を記した書物の
 里仁篇より)
 「徳」とは豊かな人柄のことですが、
 それは望んでもなかなか身に付けるこ
 とはできません。
 この文の大意は、徳のある人は孤独
 ということはなく、必ずその人を理解
 し、助けてくれる人がいるものである
 という事です。
 職場などで求められている理想的人
 間像は、人間性に限って言えば「徳の
 ある人」すなわち、人間らしさのある
 人格者ということになるでしょう。

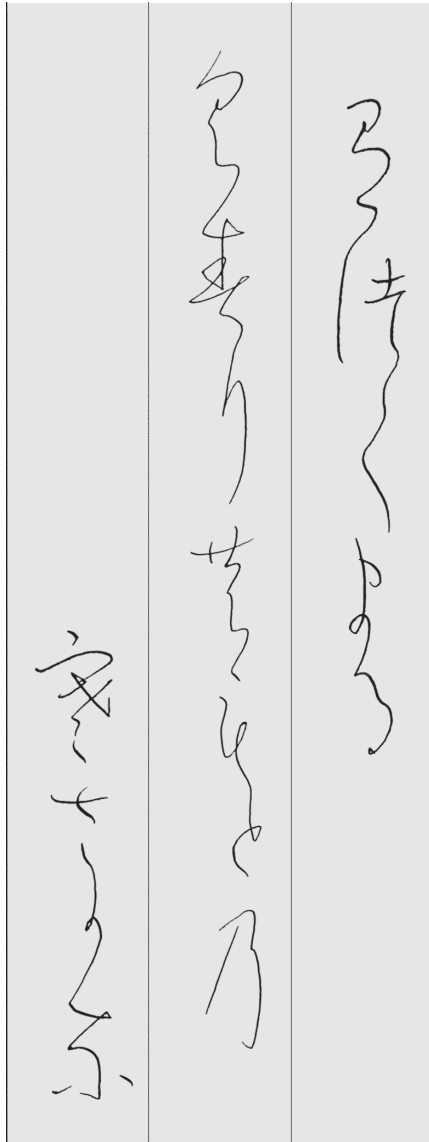
一般部かな課題

締切り 2月21日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

有徒
うづくまる薬具春り農毛と乃の下の寒可奈さかな



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

川(州)
うづくまる薬久す利能もと農の下の寒可那さかな



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

〔古筆参考〕

川(州) 川 川 川 川

具 具 具 具 具

春 春 春 春 春

能 能 能 能 能

毛 毛 毛 毛 毛

うづくまる薬もの下の寒もさかな
(内藤丈草)

〔句解〕師芭蕉の病状は重い。師の病を案じながら火鉢ひばちの薬鍋くわのそばでうづくまっていると、寒さがひしひし迫り心配のため心も寒い。

〔鑑賞〕へばせを翁おうの病床に侍りて〜と前書がある。松尾芭蕉臨終の数日前の吟。芭蕉の病床には多くの門人が侍っていたが、文章のみ芭蕉に褒められた。作意なく真情を貫き、不安が募る気分を「寒さ」の一語によく要約し得ている。

◆3月課題予告

かげろふやほろほろ落つる岸の砂はつりとはら

(服部士芳)

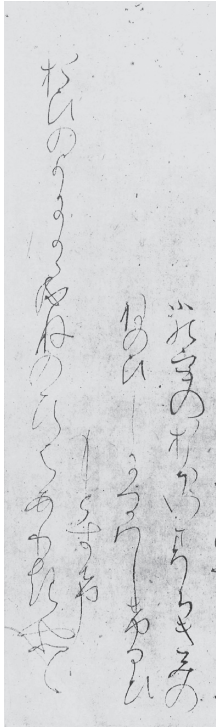
〔解説〕「寒」は、行書も草書も最後の「へ」は、中心に書いてください。

締切り 二月二十一日(必着)

築瀬舟香書

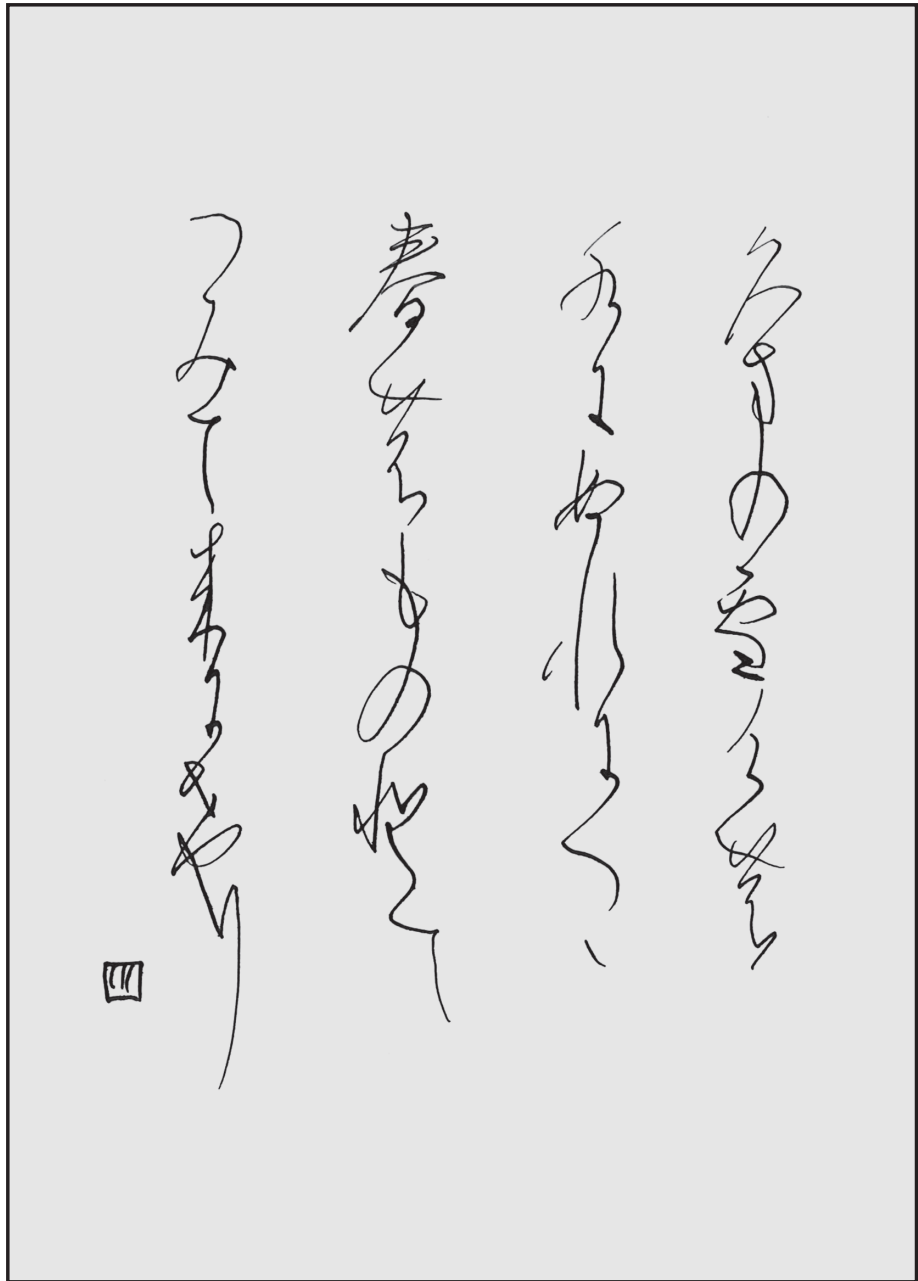
〔古筆参考〕

こうしぎれ
香紙切



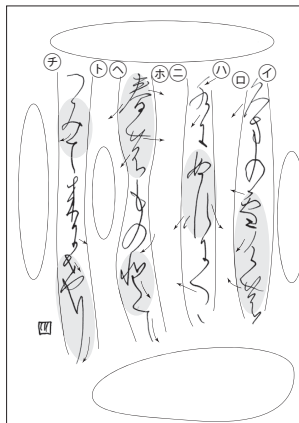
おひのよにかゝるねのひはありきやと

小の宮のおほいまうちぎみの
ねのひしにつかはしけるひ
もとすけ



四

〔解説〕



〔解説〕

〔出典〕 近世和歌集
(日本古典文学大系)

久方の雪介農の水尔にぬれ尔につゝ、
春農のもの登とて摘つみて来きに尔けり
〔歌意〕 雪解水にぬれぬれして春のものとして若菜を摘んで来たことだ。

- ①と②、①と③、④と⑤、④と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、②と⑩、③と⑩、④と⑩、⑤と⑩、⑥と⑩、⑦と⑩、⑧と⑩、⑨と⑩、⑩と⑩、それぞれ呼応。
- 余白大切。
- ∟ 線の方向大切。

◆3月課題予告

おのづから冬の日かすの暮れゆけば
まつともなきに春は来にけり

締切り 2月21日(必着)

春の小雪がちらつく青空の下に、
いっせいにラッパ水仙が咲いている
のを見つけ、何だか^氣持ちが
ワクワクし、嬉しくなりました。
春の足音が高まる中、ますますの
ご活躍をお祈り致しております。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

春の小雪がちらつく青空の下に、
いっせいにラッパ水仙が咲い
のを見つけ、何だか^氣持ちが
ワクワクし、嬉しくなりました。
春の足音が高まる中、ますますの
ご活躍をお祈り致しております。

横書き課題

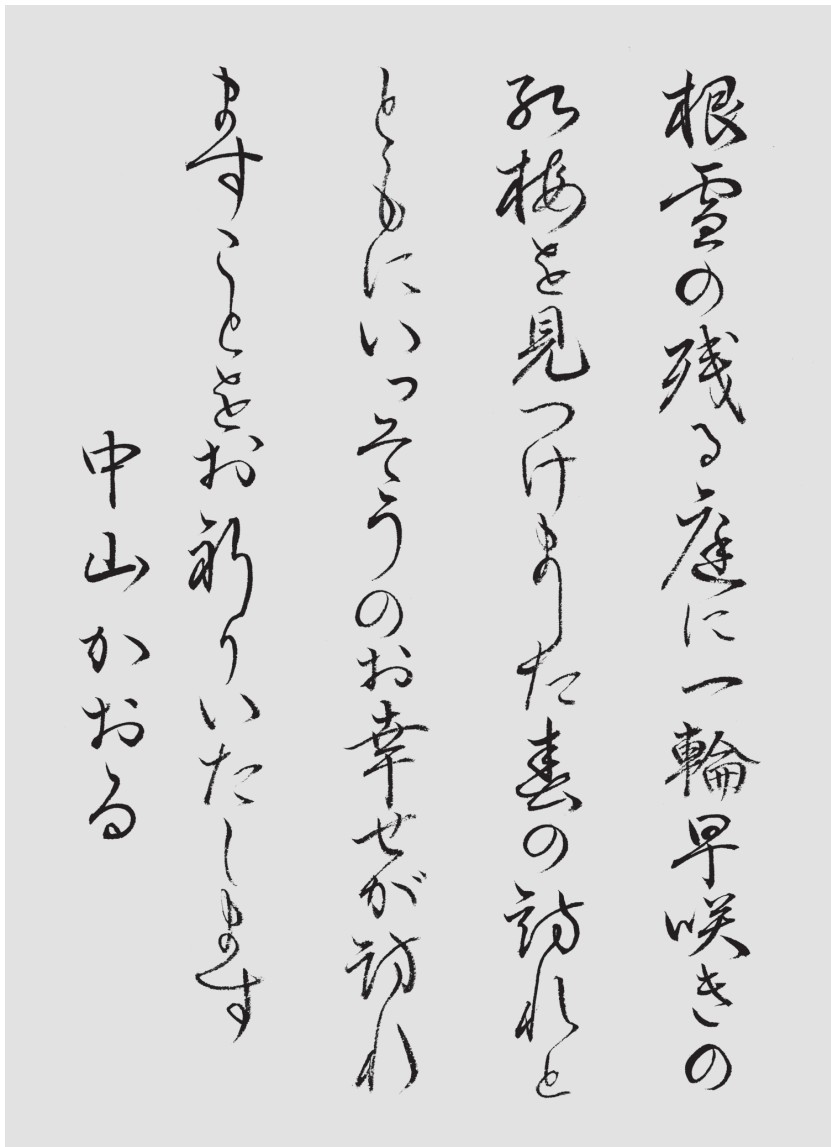
ローマ法王庁のあるバチカン市国
は、世界で最も小さい国家です。

沖縄県名護市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

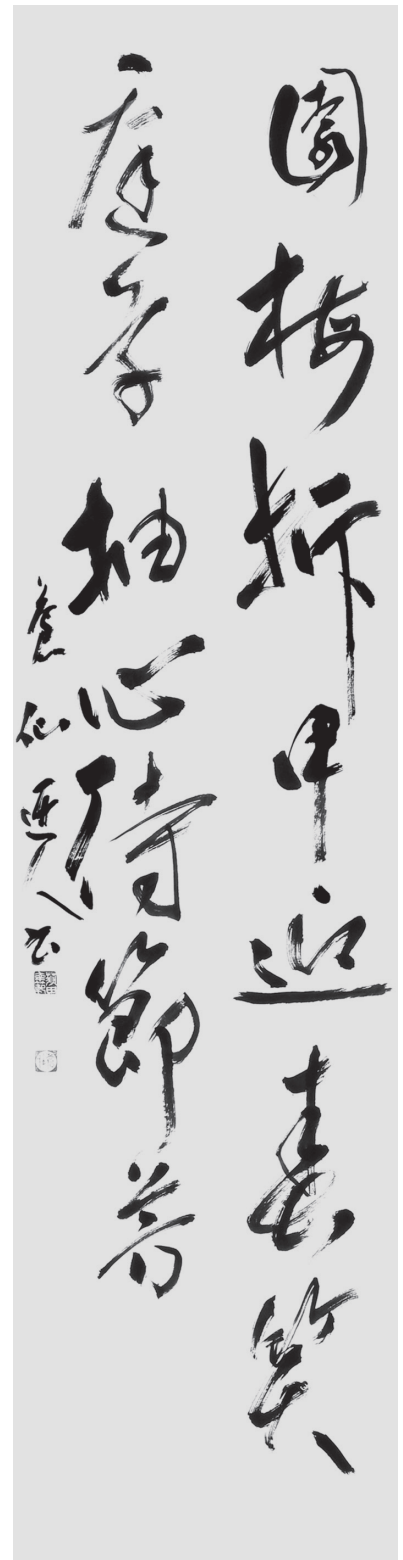
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 二月二十一日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙先生書

園梅折甲迎春笑

庭草抽心待節芳

〔大意〕園内の梅は蕾を破って春を迎えて咲き、庭前の草は萌えて出て時節を迎えて芳香を放つ。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕

臨書の場合、人柄や書いた時の心情を形や線の上で理解する方向にむけば、臨書が楽しくなるかも…。書は心に至るのです。

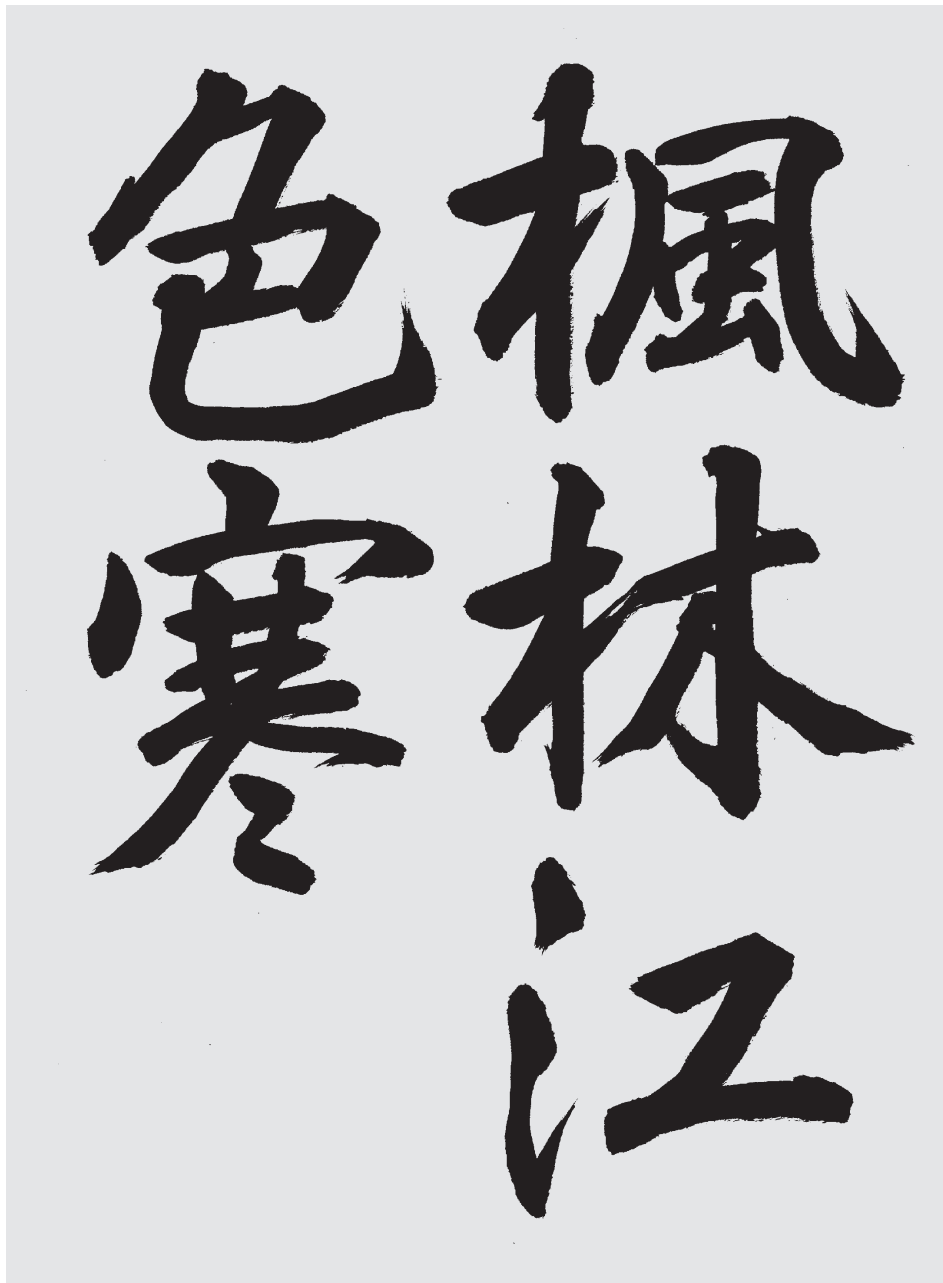
- 根雪の残る庭に一輪早咲きの紅梅を見つけた 春の訪れとともにいっそうのお幸せが訪れますことをお祈りいたします (ご自分の氏名)
- 印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(行書)

清水翠芳書



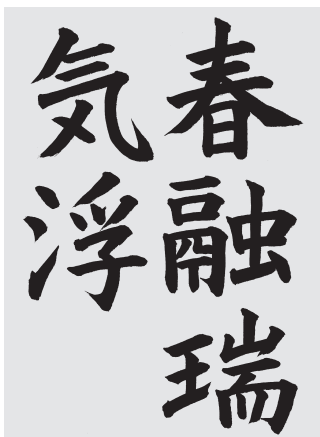
楓林江色寒

〔大意〕 楓の林に霜おりて葉は赤く、川の景か一しお寒く見られる。

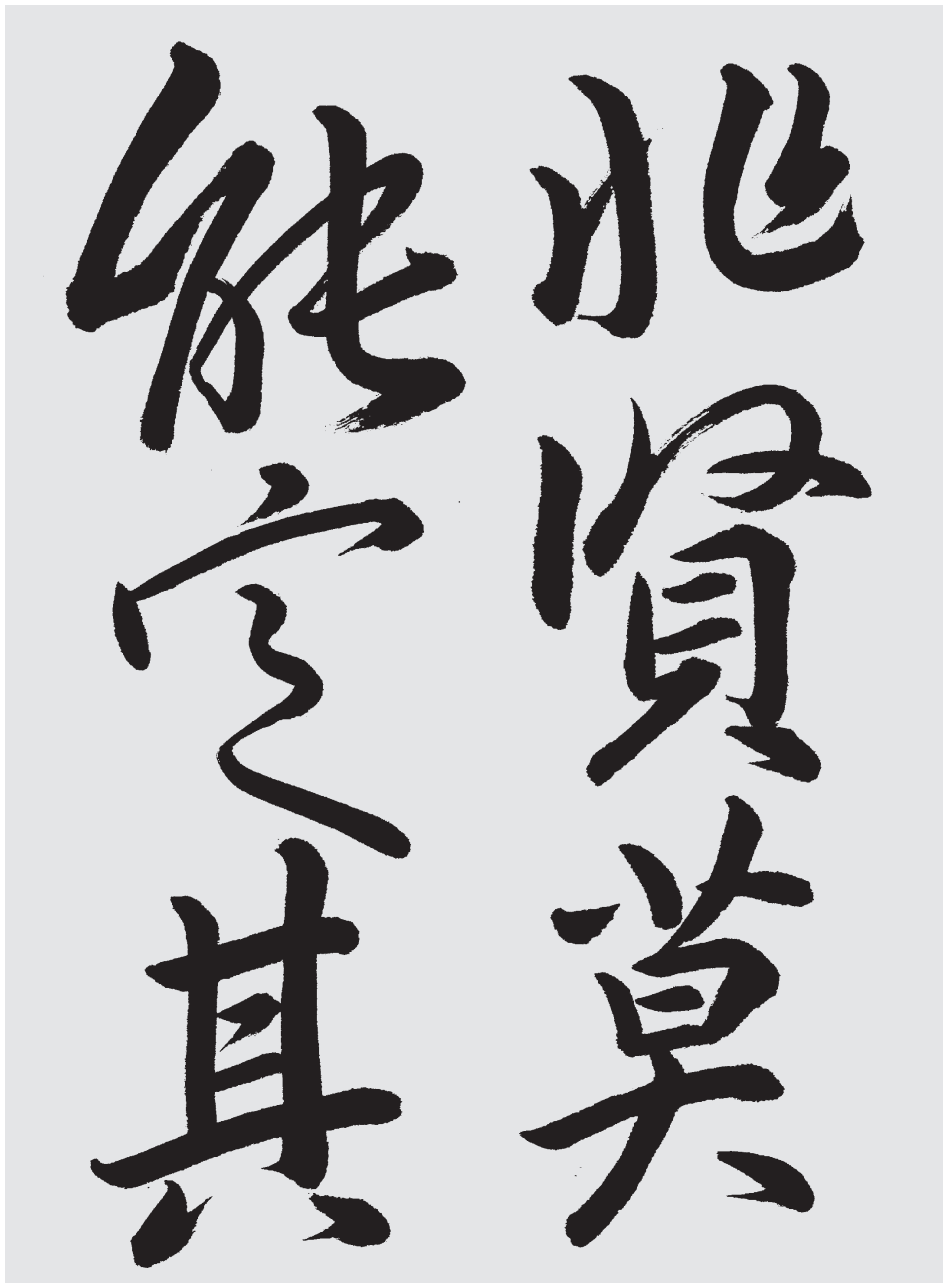
〔解説〕



◆3月課題予告(楷書)

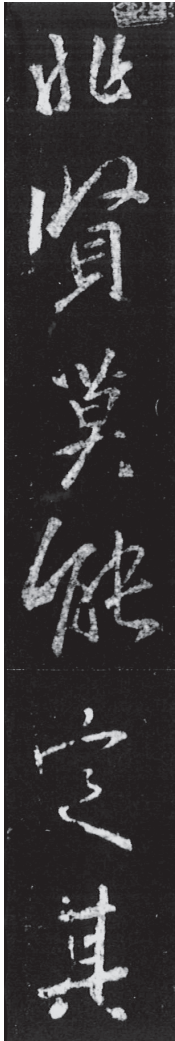


準初段から師範まで



須田 一葉 臨

非
賢
莫
能
定
其

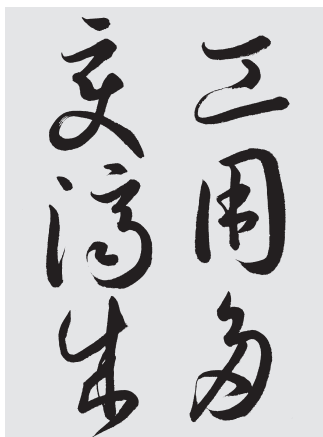


〔出典〕 集字聖教序(六七二)
 〔筆者〕 王羲之法書より集字
 〔読み〕 賢けんに非あらざれば能よく其その(旨しを)定きむる莫なし。

〔解説〕

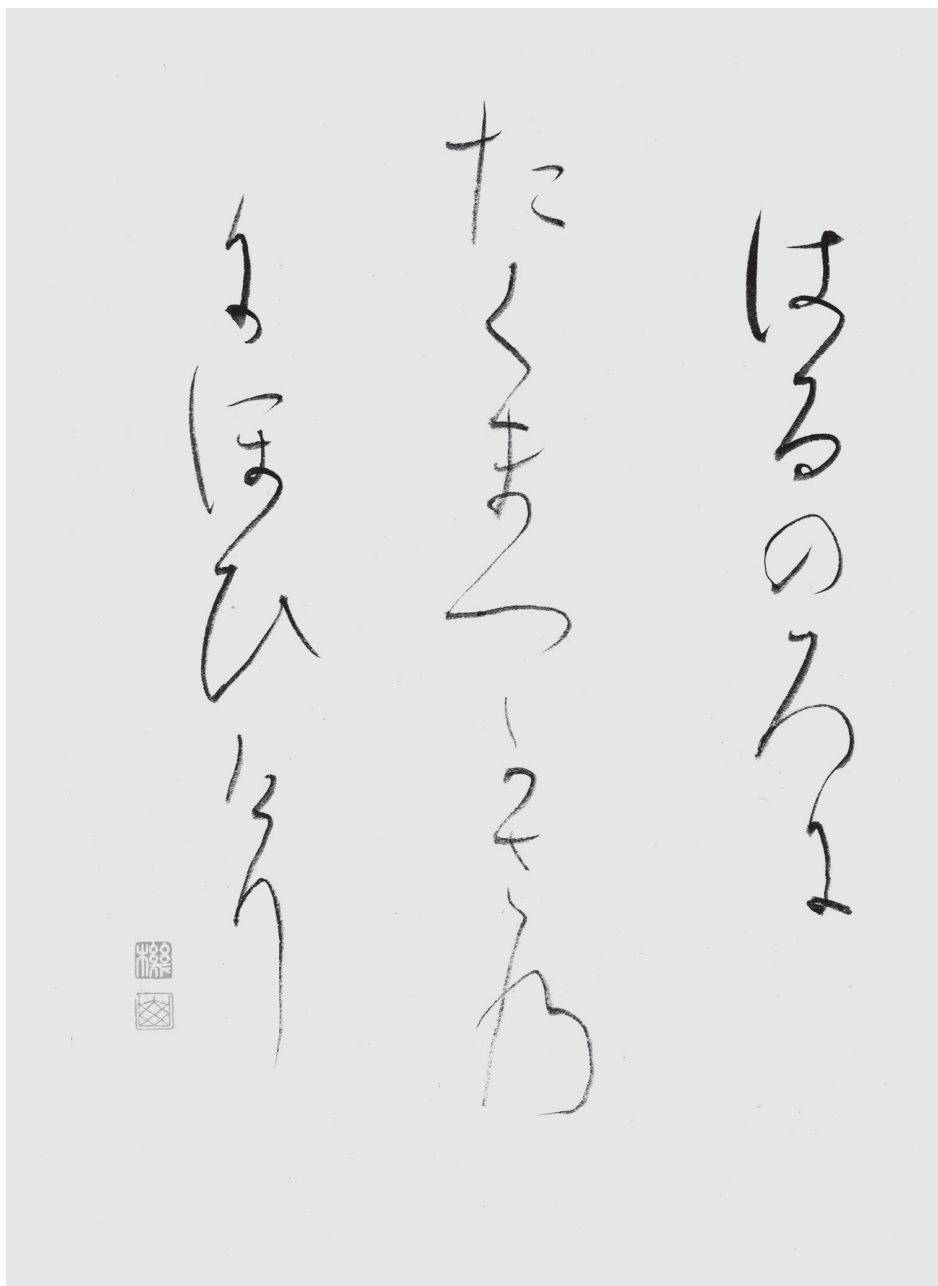


◆3月課題予告
 ※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



はるのろにたたく松かさのほひけり

藤岡筑頓

〔句意〕

春の炉に松ぼっくりが炎をあげると、ほのかな煙りとともに松笠の匂いがあたりただよう、の意。早春の山家の情景である。

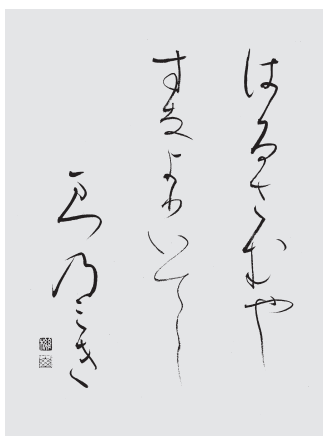
〔古筆参考〕

尔に

可か

乃の

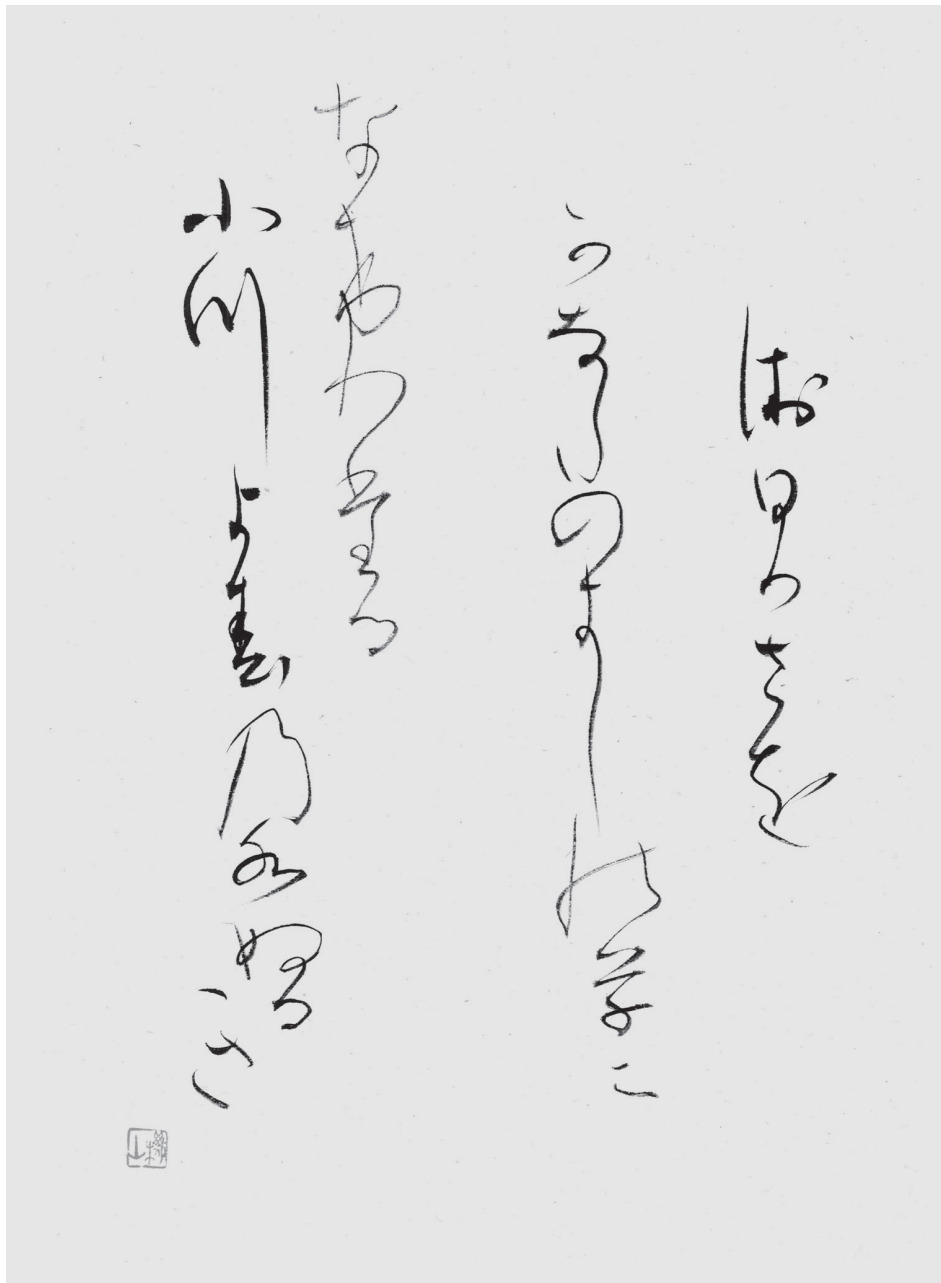
介け



春寒や砂より出でし松の幹

準初段から師範まで

浅井機山先生書



繪^衛日傘^可を^可かな^多たの^文岸^能の^二草^希になげ

わたる^堂小川よ春の水ぬる^乃き

与謝野晶子

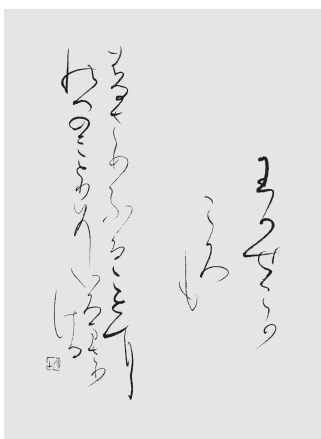
〔歌意〕

繪日傘を向う岸の青い草の上に投げておいて、裸足でわたる小川よ。なんと春の水のぬるく、こころよいことよ。

〔古筆参考〕

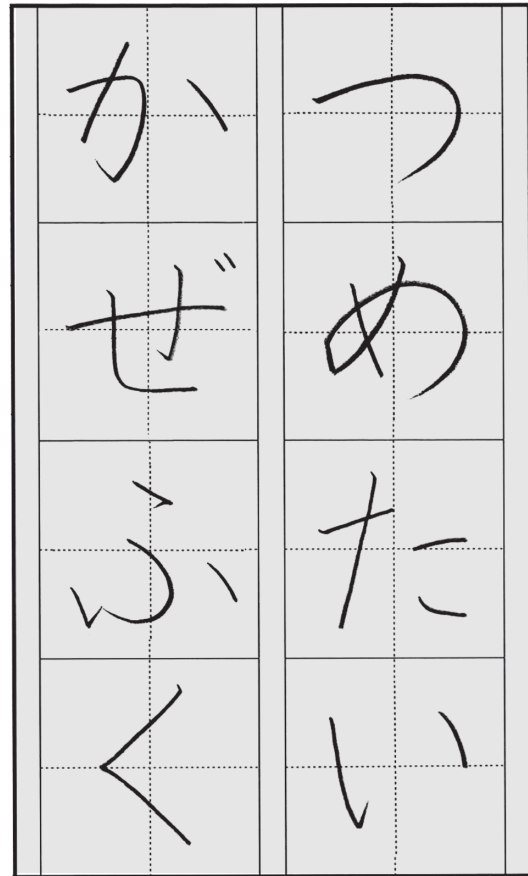
多^た 多^たゆ^ゆふ^ふふ^ふ
 支^き さ^さま^まり^りさ^さき^きま^まま^ま
 能^の 能^の砥^ぢ地^ぢた^たれ^れ
 希^け 希^け希^け希^け希^け
 堂^た 堂^た堂^た堂^た堂^た堂^た
 乃^の 乃^の乃^の乃^の乃^の乃^の

◆3月課題予告



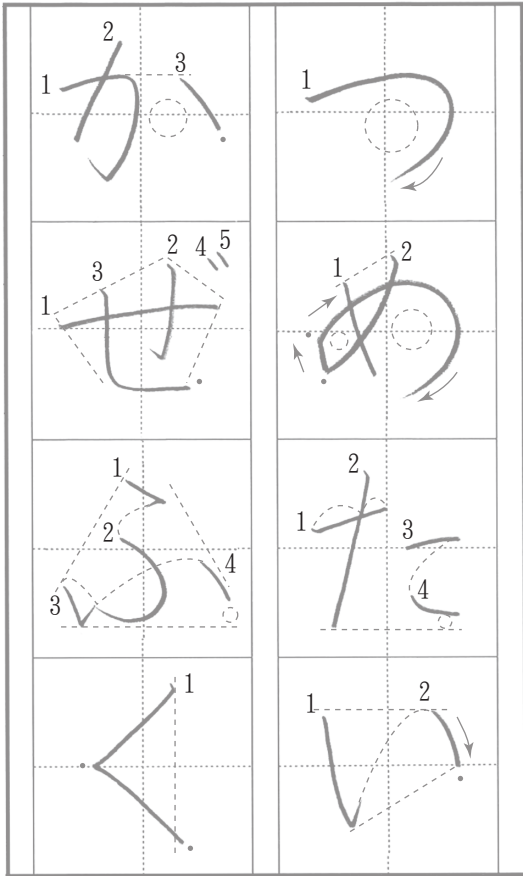
我^わせ^がこ^ころ^もは^はる^さめ^降る^毎に
 の^べの^みど^りさ^色ま^さり^ける

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

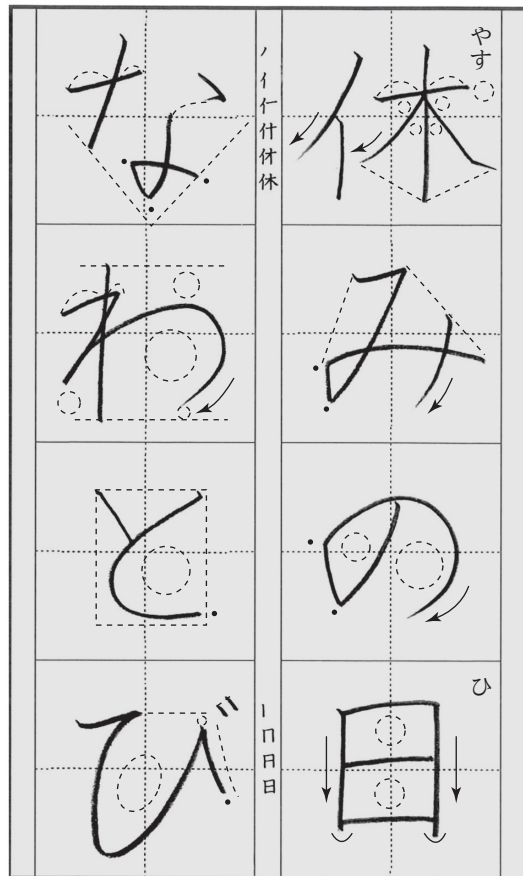
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

字	す
を	き
書	な
く	一

新入〜1級

紙	を	す
に	え	き
書	ら	な
く	ん	一
よ	で	字

小二年
準初段以上

い	金
魚	あ
や	み
く	使

新入〜1級

な	を	炭
魚	使	と
を	い	金
や	大	あ
く	き	み

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

温温温温温	あたた 温温温温温	あい 愛愛愛愛愛
か	ら	
い	し	
て	く	
一ニ三手		

新入1級

く	妹	ま
温	の	だ
か	愛	小
い	ら	さ
手	し	い

小四年

準初段以上

小四年以上

岡嶋桂川書

間間間	カ 間間間	くだ(る)
事	ジ 事	レ 列
前	ゼ 前	シヤ 車
確	たし(かめる)	ジ 時
一門間	一アタタ列列	一前前車
一ニ三手		

解説(よく見て習いましょう)

に	時	下
確	間	り
か	を	列
め	事	車
る	前	の

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

見	み(かける)	早	ソウ
牛	ギユウ	朝	チヨウ
乳	ニユウ	散	サン
配	ハイ	歩	ポ

解説(よく見て習いましょう)

牛	で	早
乳	見	朝
配	か	の
達	け	散
買	た	歩

小六年 (全員)

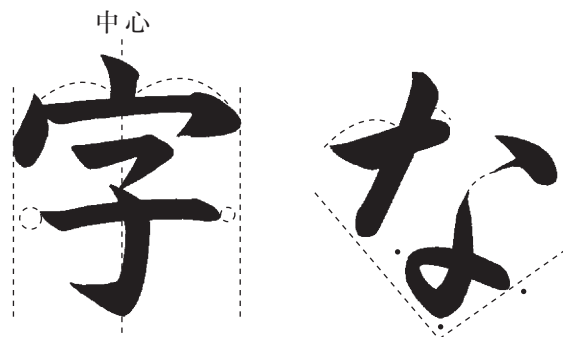
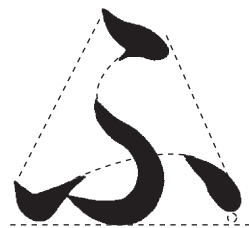
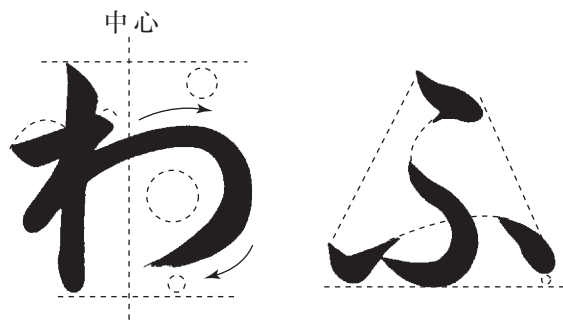
り	地	宣
は	域	伝
大	の	効
盛	お	果
況	祭	で

中二・三年 (行書)

工	不	身
夫	便	の
で	を	回
解	創	り
決	意	の

中一年 (行書)

幼年〜小二年
酒井智仔書



小五
 下り列車

金
 あみ
 小三

手
長めに

金

列

あ

車

温

小四
 温か
 手

小三〜小五年

水野碧友書

中三
効宣
果伝

小六
散朝
歩の

小六〜中二・三年

玉樹小華書

意

朝

伝

散

効

創

中一
工創
夫意

※行書は氣脈を大切にしよう。